

# 能登半島地震からの復興に向けた活動について

2024.5.24

一般社団法人能登乃國百年之計



【格納資料】

- ・本資料
- ・能登復興ビジョンライブラリに寄せられた市民の声



# Agenda

- 1 一般社団法人能登之國百年之計について P4
- 2 私たちが大事にしたい「能登復興への想い」 P6
- 3 復興コンセプト P7
- 4 6つの事業と優位性 P8
- 5 各事業の役割と関連性 P9
- 6 各事業の推進体制 P10
- 7 私たちの活動アウトカム P11
- 8 「能登の未来」実装プラン
  - 8.1 みんなちがって、みんな能登 P13
  - 8.2 ちょっと新しい、いつも通り P14
  - 8.3 古いのに新しい、一流の田舎 P15
- 9 コンセプトと復興計画の関連性 P16
  - 9.1 教訓を踏まえた災害に強い地域づくり P17
  - 9.2 能登の特色ある生業の再建 P18
  - 9.3 暮らしとコミュニティの再建 P19
  - 9.4 誰もが安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくり P20
- 10 今後の活動について P22



An aerial photograph of a coastal landscape. The foreground and middle ground are dominated by terraced green fields, likely rice paddies, which are arranged in a grid-like pattern on a hillside. A dirt path winds through the fields. In the background, a vibrant blue ocean stretches to the horizon under a clear sky. The text is overlaid on the lower right portion of the image.

**一般社団法人能登乃國百年之計**  
**～活動内容紹介～**



# 1. 一般社団法人能登乃國百年之計について

名称 一般社団法人能登乃國百年之計

設立 2024年4月9日

所在地 石川県金沢市小橋町2-17

ウェブサイト <https://notonokuni.or.jp/>



能登乃國  
百年之計

役員

代表理事：林 俊伍

(株)こみんぐる 取締役  
※石川県珠洲市在住



副理事長：岩城 慶太郎

アステナホールディングス(株) 取締役  
スペラファーマ(株) 代表取締役社長  
(公財)岩城留学生奨学会 理事  
※石川県珠洲市在住



理事：海老原 城一

アクセンチュア(株) ビジネスコンサルティング本部  
ストラテジーグループ  
サステナビリティプラクティス日本統括





# (参考) 前身団体である能登半島地震避難者受入基金での活動実績

## 救助・避難期

被災者を被災地外に避難させることで  
災害死・関連死を防ぎ、復旧期への移行を早める



孤立集落情報の収集・発信

「二次避難のススメ」



無料バス運行



ペットの一時預かり



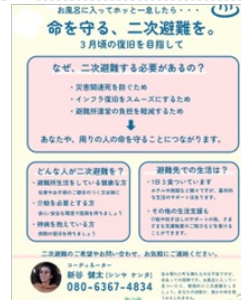
地方自治体への  
公営住宅開放呼びかけ



空き屋情報収集と  
マッチング

## 復旧・復興期

市民による5000個の復興ビジョン発信と  
30人の復興イニシアティブ育成



被災地出身の学生に奨学金

被災地学生への給付型奨学金



インスタライブ  
「そうだ、能登の話しよう」  
(毎週土曜日)



一般社団法人能登乃國百年之計  
(4月1日開設予定)



「能登乃國楽市」  
(被災事業者の方への販路提供)



「能登のステキ写真」の  
収集と写真展企画



県・自衛隊と連携による  
孤立者救助



能登半島地震  
避難者受入基金  
(1月6日発足)



ボランティアによる  
二次避難の推奨



石川県・富山県での  
避難先無料開放  
(後に公費負担)

「能登の未来」語り手募集



復興諸団体への活動経費支給



メディアリーチと講演会

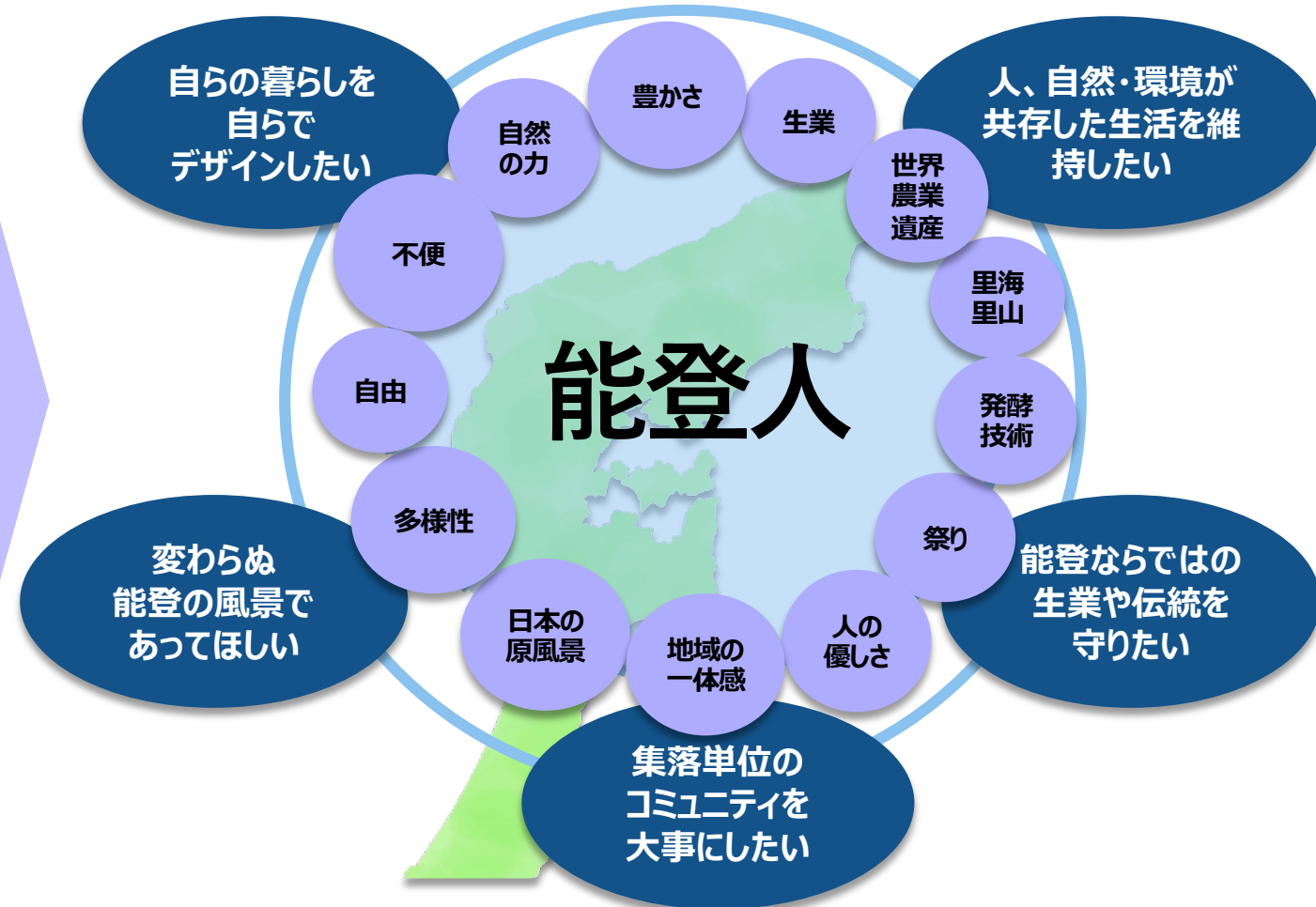
## 2. 私たちが大事にしたい「能登復興への思い」

### 住民による復興への思い

#### 寄せられた声の一部抜粋

- ・豊かな自然環境が保たれた場所であってほしい
- ・伝統的な祭りや文化が継承されてほしい
- ・自立分散型地域のトップランナーになってほしい
- ・人の繋がりが強いところが能登の強さ、それを維持したい
- ・水とエネルギーが自分達の地域で賄えている循環型社会ができているといい
- ・緑豊かな自然と最先端の技術が融合した持続可能な社会の模範として発展してほしい

### 大切にしたい能登らしさと未来への思い





# 3. 私たちの能登復興コンセプト – ①最小公倍数 ②ステルス ③オフグリッド

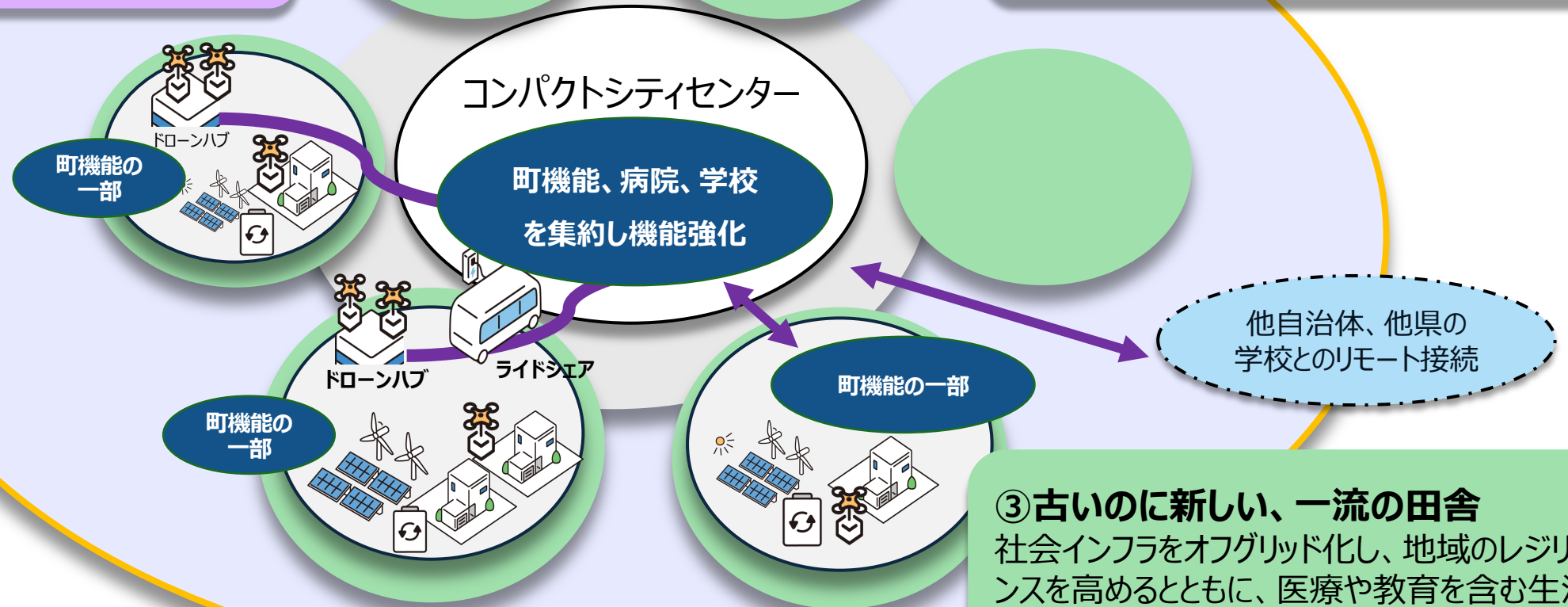
3市3町の垣根を超えた能登生活圏


## ② ちょっと新しい、いつも通り


アナログとデジタルを意識することなく暮らしていける“ステルスな”生活圏の形成を目指す

## ① みんなちがって、みんな能登

機能集約と分散により中央機能を強化し、各集落は最小公倍数的な復興を目指す



 ライドシェア：  
各集落とシティセンターを結ぶ乗り合いタクシーのようなものを想定

 ドローンハブ：  
シティセンターから各集落へ運ばれた物資をドローンで配送するロッカー

## ③ 古いのに新しい、一流の田舎

社会インフラをオフグリッド化し、地域のレジリエンスを高めるとともに、医療や教育を含む生活モデルも一新することで“最尖端”を目指す

# 4. 6つの事業と優位性 – 能登復興をリードする活動実績

## 1 能登復興ビジョンのライブラリ「能登之國百年之計」

市民の想いを反映した復興のため、市民が心より実現したいと願う「能登の未来」の姿を収集・発信

掲載数No.1



## 2 能登復興イニシアティブの育成「能登之國百年塾」

復興計画の策定と実装を担い、各地域/集落の未来のリーダーとなる「若きイニシアティブ」を育成

県や市町とも連携済



## 3 能登復興団体のプラットフォーム「能登之國ポータル」

町づくり協議会・復興支援団体・自治体の情報連携を促進し、被災地外から応援する法人・個人に情報提供をするためのプラットフォームの運営

代替サービス無し



## 4 能登の未来を創るメディア「能登乃國メディア」

「能登のステキ写真展」や、インスタライブ「そだ、能登の話をしよう。」など、能登の過去・現在を知り、未来を共創するための情報発信

累計3万人以上にリーチ



## 5 被災した学生への給付型奨学金「能登之國奨学会」

被災した高校生・大学生等に対して（公財）岩城留学生奨学会から年間120万円の給付型奨学金を支給するための寄付集めの支援

唯一の「給付型」



## 6 被災事業者のためのECサイト「能登之國楽市」

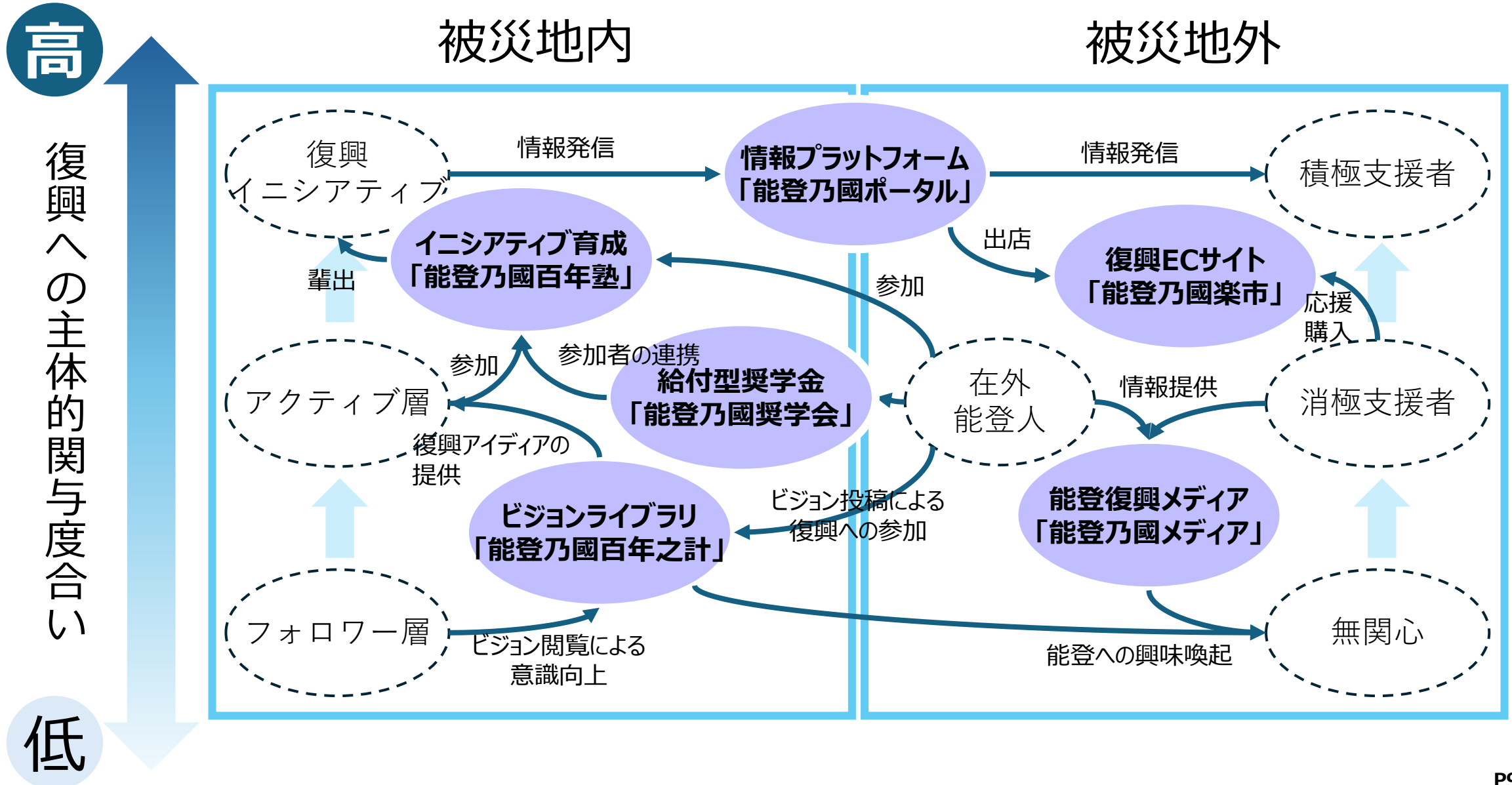
被災のため販路を喪失した事業者のためのハンズオフ型ECサイト

唯一の「無料EC」





# 5.各事業の役割と関連性 –被災地内外を繋ぎ、復興への関与度合いを高める



# 6.各事業の推進体制 –70名を超えるボランティアと10社の法人パートナー

## 1 能登復興ビジョンのライブラリ「能登之國百年之計」

主担当：森山知世  
担当：荒井智恵子  
：林佳奈

法人パートナー  
アクセントリア(株)  
日本ワイドコミュニケーションズ(株)

※ほか、聞き手ボランティア  
約30名



## 4 能登の未来を創るメディア「能登乃國メディア」

主担当：別川美穂  
担当：羽生田文登  
：兼政隆司

法人パートナー  
(株)TYO  
ゲーパス(株)

※ほか、運営ボランティア約25名



## 2 能登復興イニシアティブの育成「能登之國百年塾」

主担当：岩城慶太郎  
担当：林俊伍  
：徳野新太郎

法人パートナー  
アステナホールディングス(株)

※入塾者13名（4月1日時点）



## 5 被災した学生への給付型奨学金「能登之國奨学会」

主担当：舟木 拓也  
担当：岩城慶太郎  
：林佳奈  
：森山知世

法人パートナー  
(公財)岩城留学生奨学会  
(株)ガクシー



## 3 能登復興団体のプラットフォーム「能登之國ポータル」

主担当：TBD  
担当：田代大輔

法人パートナー  
(株)Asian Bridge

※現在システム開発中



## 6 被災事業者のためのECサイト「能登之國楽市」

主担当：越後龍一  
担当：奥野文雄  
：さわひらき  
：本口夏美

法人パートナー  
46000(株)  
(株)ユニフォームネット





# 7. 私たちの活動のアウトカム – 被災地内外の市民同士による復興計画の策定と実装

市民各々が考える  
「能登の未来」を

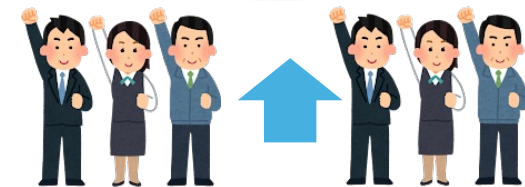
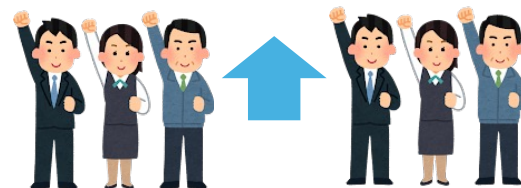
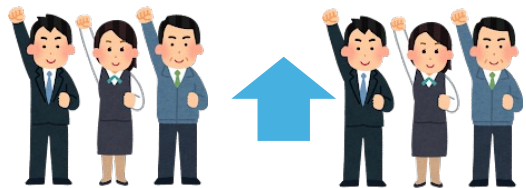
地域/機能別の  
復興団体間が連携し

「能登の未来」が  
実装される



支援団体  
農業復興  
支援団体  
漁業復興  
支援団体  
商業復興  
支援団体  
教育復興  
支援団体  
工芸復興  
支援団体  
福祉復興

- 地区復興協議会
- △地区復興協議会
- ×地区復興協議会
- ◎地区復興協議会
- ▽地区復興協議会
- ▲地区復興協議会

これらの活動を被災地外の市民が継続的に支援する

**収集した市民の声から検討した  
「能登の未来」実装プラン**



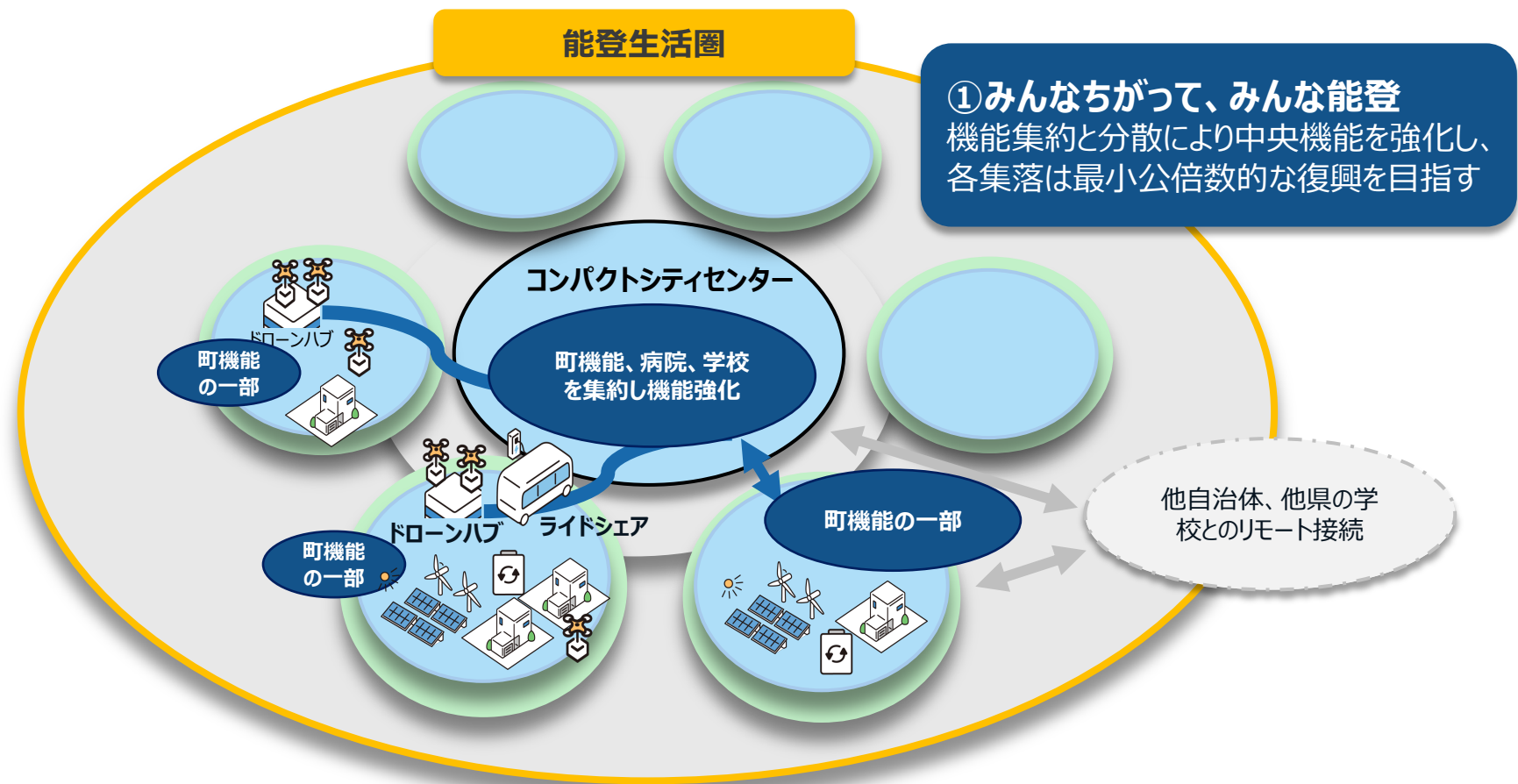
# 8. 能登復興コンセプトのおさらい – 8.1 みんなちがって、みんな能登

平均的な機能を各所へ配置するのではなく、集約により中央を強化した上で必要な機能のみを集落に残すことで、住民を取り残さずに質の高い生活圏を形成する。

**コンセプト①**  
みんなちがって、みんな能登

**コンセプト②**  
ちょっと新しい、いつも通り

**コンセプト③**  
古いのに新しい、一流の田舎



# 8. 能登復興コンセプトのおさらい – 8.2 ちょっと新しい、いつも通り

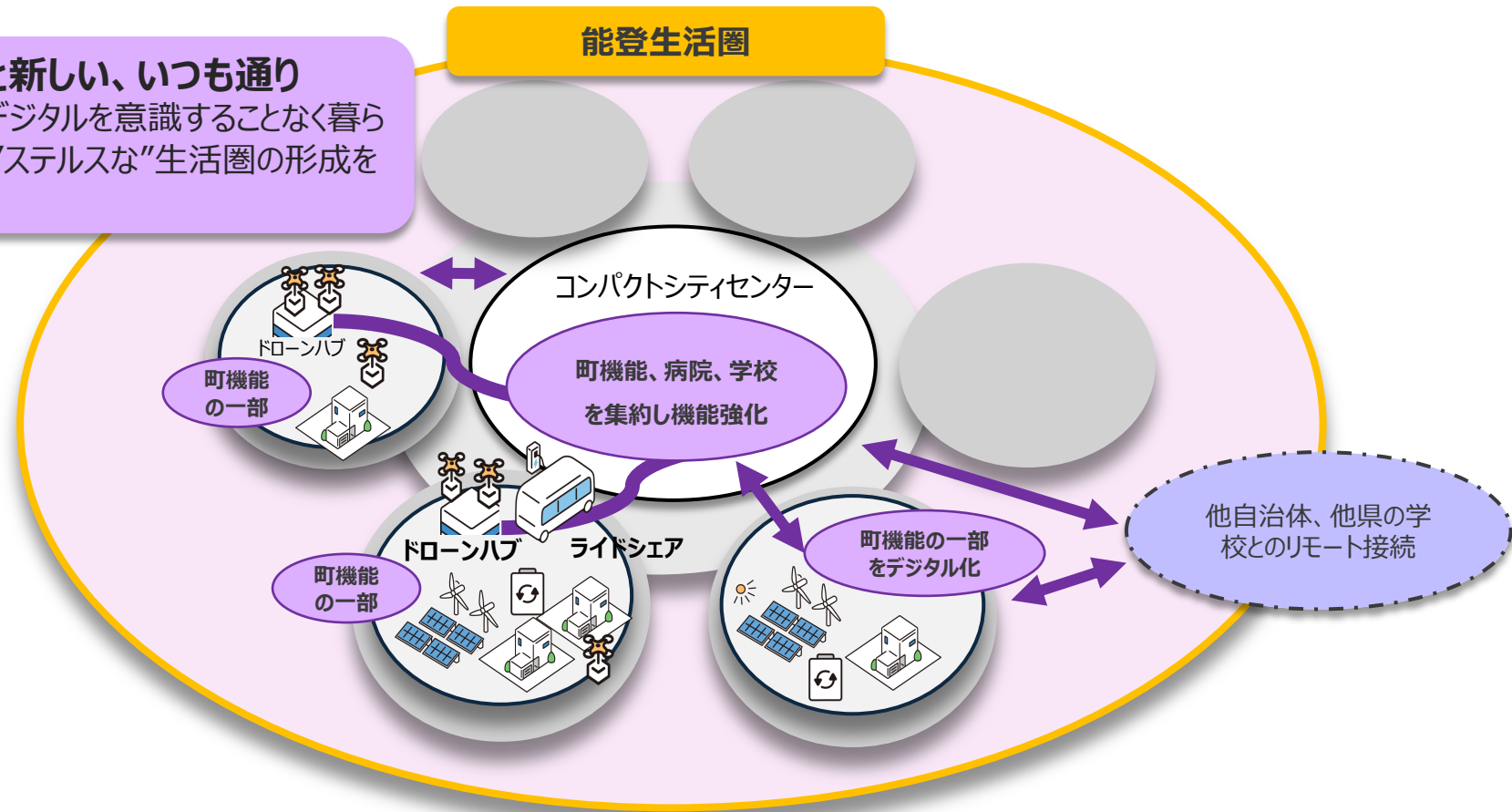
ステルスに最先端技術を取り入れることで効率化したリソースを、能登ならではの生活環境や営み、伝統にシフトさせ、より能登らしさ（アナログ）を強化したまちを作る。

コンセプト①  
みんなちがって、みんな能登

コンセプト②  
ちょっと新しい、いつも通り

コンセプト③  
古いのに新しい、一流の田舎

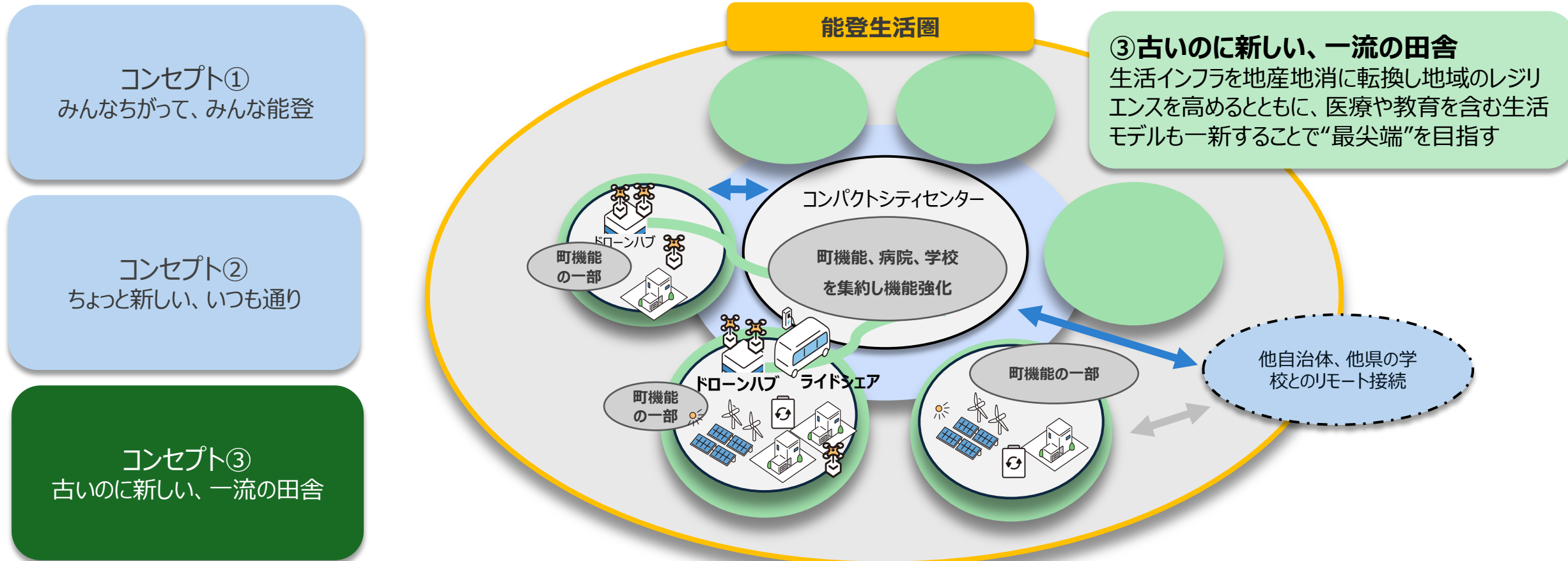
②ちょっと新しい、いつも通り  
アナログとデジタルを意識することなく暮らしていきける“ステルスな”生活圏の形成を目指す





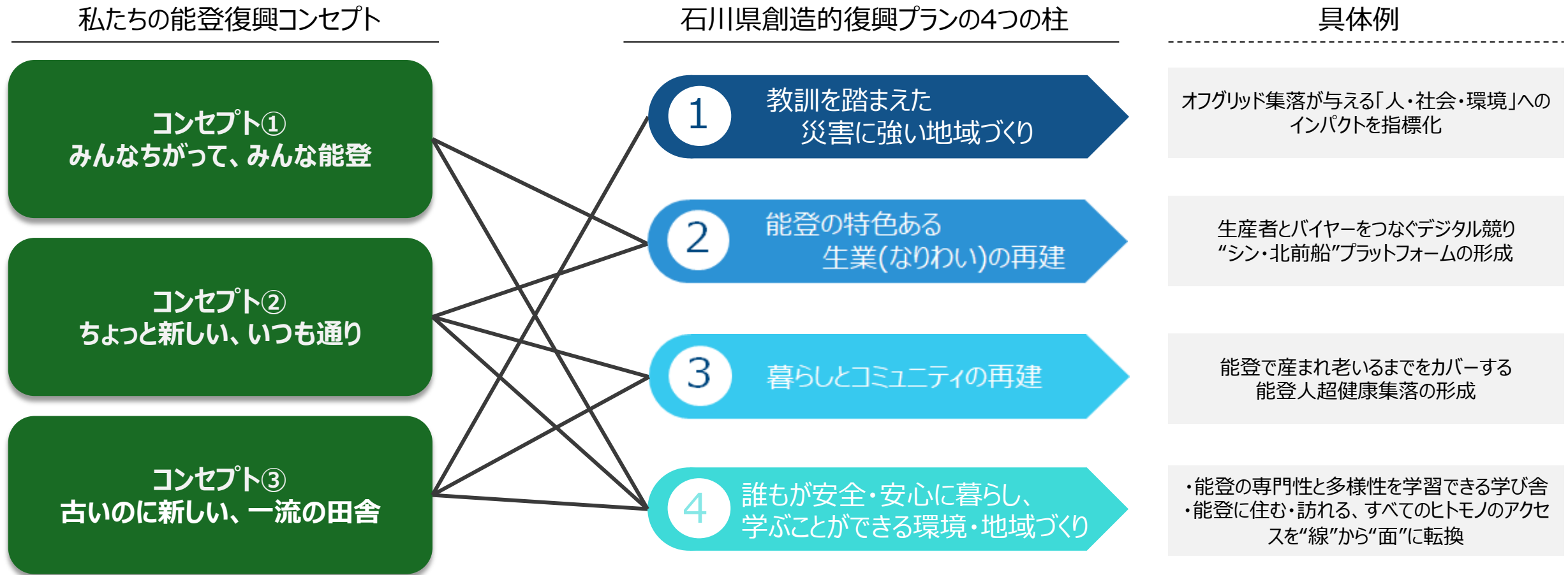
# 8. 能登復興コンセプトのおさらい – 8.3 古いのに新しい、一流の田舎

インフラやエネルギーを中央に依存した状態から地産地消型へ転換し、それを地域で維持することで強靱な集落を形成する。また医療や教育を含む生活モデル全体を変革することでより持続可能性の高い地域の構築を目指す。



# 9.コンセプトと復興計画の関連性

これらのコンセプトは石川県復興計画の4つの柱と網羅的に関連している。各項目とのリンクは以下の通りである。  
(4つの柱は5/20に公開された「石川県創造的復興プラン(仮称)」による)





# 9.1 教訓を踏まえた災害に強い地域づくり

災害レジリエンスの向上と同時に環境、社会、個人の3つの観点からサステナブルな**オフグリッド集落モデル**を形成。集落の持続性を評価する指標を作り、観測できるモデル地域として世界に発信する。

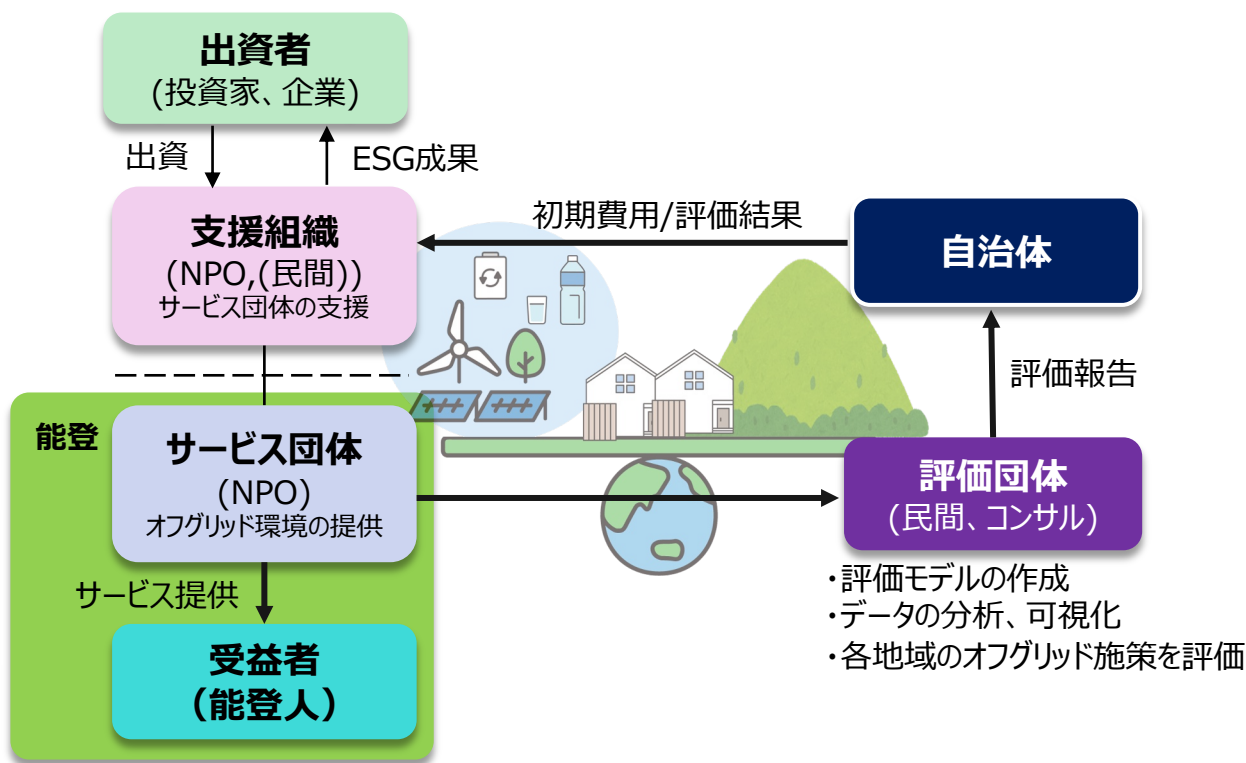
## 持続可能なオフグリッド集落モデルと指標づくり

“**オフグリッド集落スコア**”でサステナブルなオフグリッド集落を目指す

### オフグリッド集落スコア 3つの観点

- ①**環境：エネルギー循環率を評価**  
各集落のオフグリッドシステムによるエネルギー循環率を定量的に調査、評価を実施（例：CO2やリサイクル率など）
- ②**社会：社会課題解決率を評価**  
オフグリッド集落での生活で予防できる社会的問題について定期的な調査、評価を実施（例：孤独死や孤立など）
- ③**個人：ウェルビーイングを評価**  
オフグリッド集落での生活における幸福度について定期的な調査、評価を実施（GDPではない幸福度指標作り）

例：環境評価による持続的なサイクルを生み出す仕組み



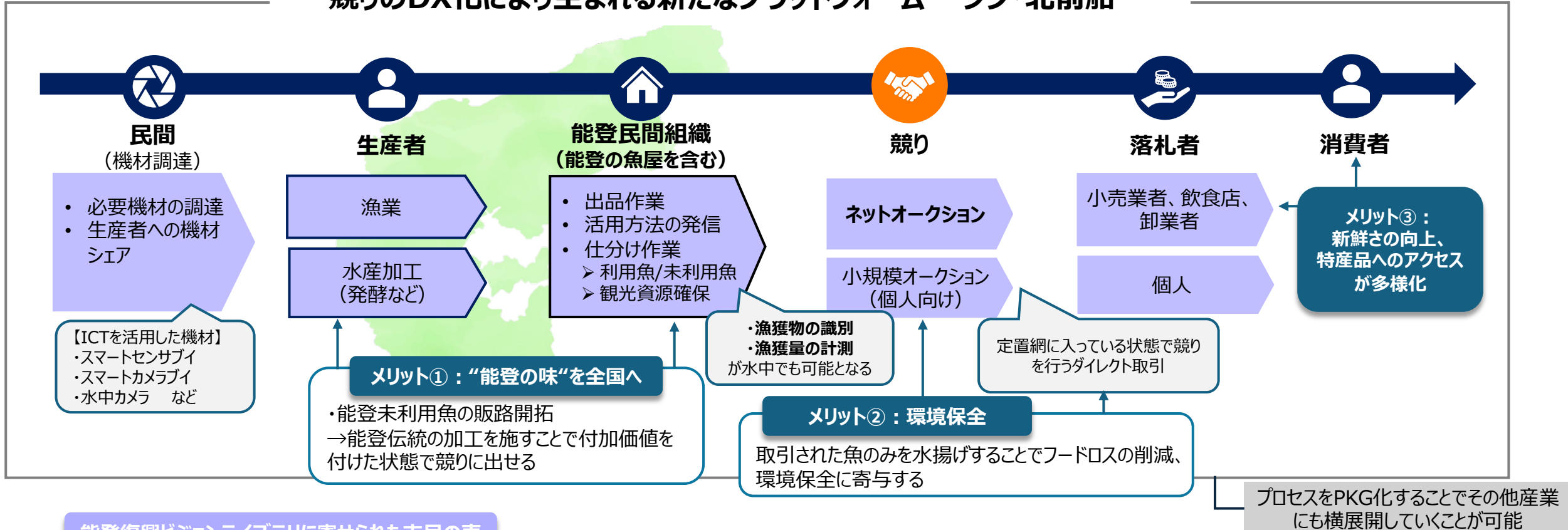
### 能登復興ビジョンライブラリに寄せられた市民の声

- ・自律分散型の地域が災害に強いというのを改めて感じた。能登は100年後に向けて、自律分散型地域のトップランナーになってほしい。（七尾市、40代）
- ・電力会社や上下水道に頼らないオフグリッドな家、まちづくりが確立されれば、元の能登らしい街並みが再生・維持できるかもしれない。（珠洲市、40代）

# 9.2 能登の特色ある生業(なりわい)の再建

伝統 × 経験値（ノウハウ） × デジタルのかけ合わせにより従来の競りをDX化し、生産から仕入れまでをダイレクトに連結した新たなプラットフォーム、“シン・北前船”を形成する。

## 競りのDX化により生まれる新たなプラットフォーム “シン・北前船”



### 能登復興ビジョンライブラリに寄せられた市民の声

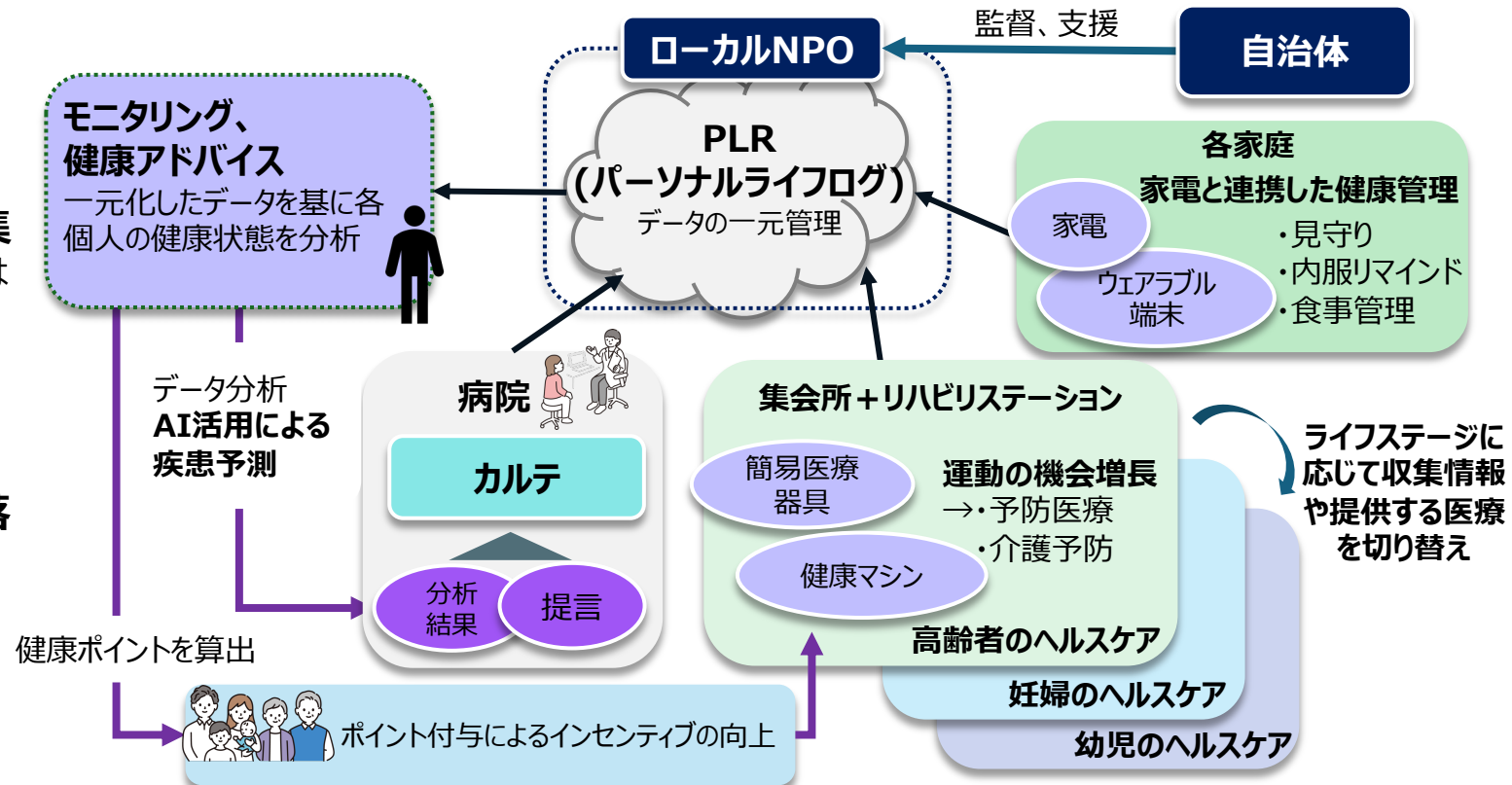
- ・漁業はかなり壊滅的だが、逆に新しく切り開いていけるチャンスがあるとも捉えられる。漁業なくして能登は無い、継続的に注力し続けて新しいモデルを作るしか無い。(金沢市、40代)
- ・今回の災害で能登へのアクセスの問題も浮き彫りになった。陸路に頼るだけではない、能登ならではの海路の可能性も探すべきだと思います。(能登町、10代)

市民のヘルスケア情報を一元管理する“能登人のカルテ”により、能登で生まれ老いるまでをカバーする健康集落を目指す。

## 超限界集落から超健康集落へ

1. **ライフステージの変化に合わせて必要な情報を収集**  
妊娠中や幼少期など、体の変化に合わせて必要な情報は変容するため、収集する情報を切り替え一元管理。
2. **収集したデータを基に健康アドバイスを実施**
3. **市民の行動変容につながり、地域全体を健康集落へと導く**

## 健康集落プラットフォーム“能登人のカルテ”



### 能登復興ビジョンライブラリに寄せられた市民の声

- ・高齢化が進む能登地方は、デジタル化によって病院に通う高齢者が助かる。(小松市、10代)
- ・DXなど技術革新による医療アクセス格差の是正が必要。(金沢市、20代)



能登らしい専門性と域外の教育とを掛け合わせ、生徒が主体的にカリキュラムを選択できるオープンかつ多様な“能登の学び舎”を実現する。

## 能登らしさを持つアクティブな学び場への転換

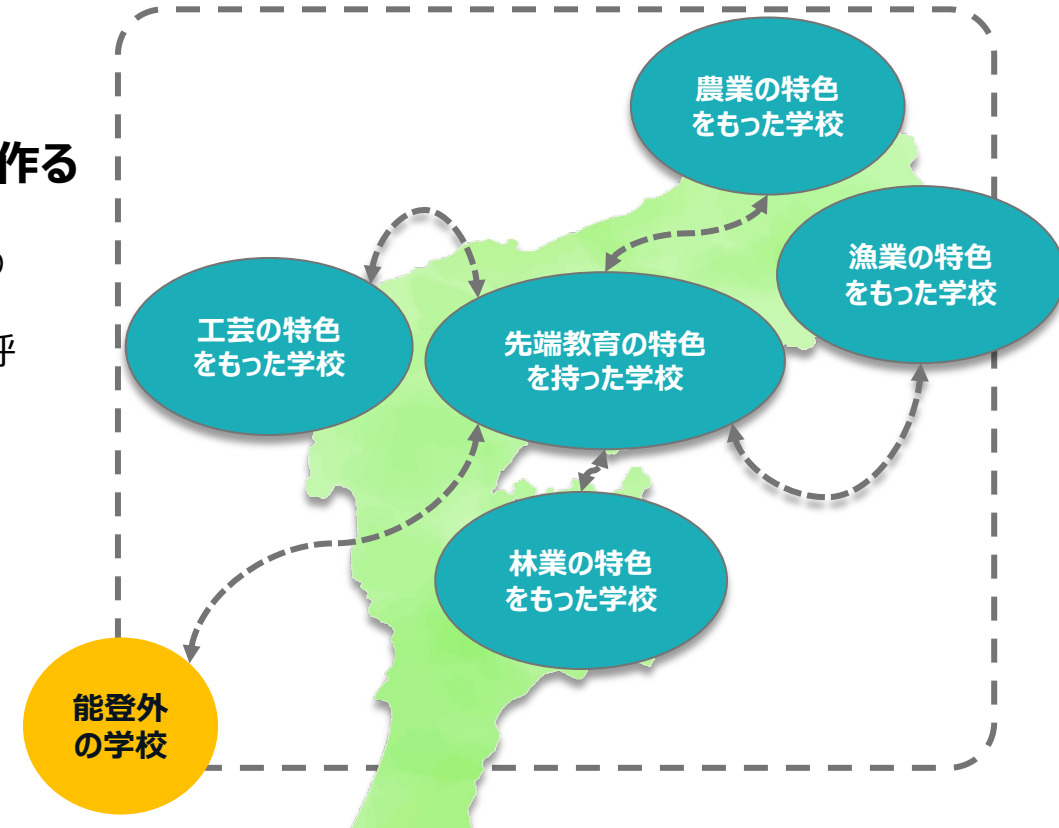
### ➤ カリキュラムに能登らしさを持たせ、能登の生業を継承するきっかけを作る

- 各地域の学校を維持しつつ、地域の特色を活かした授業をつくる
- 各学校がリアル/バーチャルに連携し相互の授業を履修できる制度を整え、どの学校のカリキュラムを学ぶか、生徒が選べる
- 能登人にとって進路の可能性を広げるとともに、特色を活かして能登外からも生徒を呼び込む

### ➤ 域外の教育機関とも連携し、教育格差を無くす

- 能登外の学校との共同オンライン授業により、得られる情報量の格差を是正する
- 開かれた能登の授業に他校生徒が参加し、関係人口を創出する

## オープンかつ多様な“能登の学び舎”



### 能登復興ビジョンライブラリに寄せられた市民の声

- ICTを活用すれば、奥能登にいても世界とつながり、逆にどこにいても奥能登の教育を受けることができる。(穴水町、50代)
- 授業、医療、情報における孤立に対策し、距離をカバーできる「遠くても近い能登」が実現したらいい。(白山市、30代)

# 9.4 誰もが安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくり

みんながって、みんな能登

ちょっと新しい、いつも通り

古いのに新しい、一流の田舎

能登に住む・訪れるすべてのヒトモノのアクセスを"線"から"面"に転換する。

## 持続可能な"面"交通網を構築する3つの視点

### ➤ のと里山空港を心臓にした"ヒトモノ大動脈"の構築

- 自動運転バスや自動運転トラック専用レーンによる奥能登へアクセス効率向上
- 複数社共同運行、事業者団体による設計・維持で効率性、持続性を確保

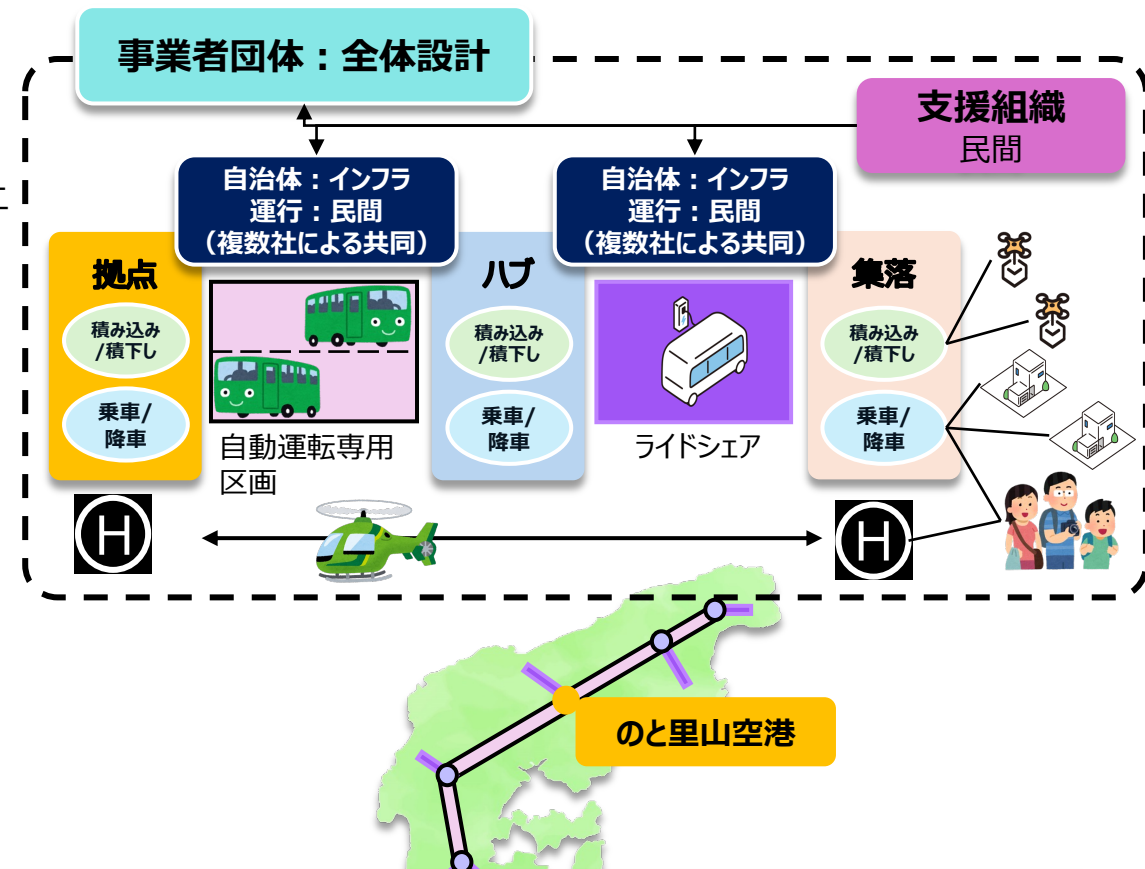
### ➤ 奥能登まで行き届く"ヒトモノ毛細血管"の構築

- ハブから各集落や学校、観光資源へのアクセスにはライドシェアを活用
- 車両はマルチタスクとし、人的輸送と物的輸送を統合
- 更なるアクセシビリティ向上に向け、ドローン配送拠点（※）を集落に設置  
※ボラまちやぐらや旅館などの観光資源をハブ/ロッカー化

### ➤ 断絶させない"ヒトモノバイパス"の構築

- 各集落にヘリポートを設置
- 通常時は観光客向け交通手段として活用
- 災害等発生時には避難や一時帰宅手段、物資輸送として活用

## 暮らしを描く"能登の糸かけ"



### 能登復興ビジョンライブラリに寄せられた市民の声

- 100年後には文明の力で交通が便利になり、金沢から30分で、海水浴に、畑を耕しに、夕陽や星空を見に、真浦に来られるようになってほしい。(珠州市、50代)
- 交通インフラの発展により都市部で病気の早期治療ができるようになってほしい。(輪島市、10代)

# 10. 今後の活動について

当団体は今後引き続き3つのミッションを基に活動を進め、「能登の未来」実装プランを更新し続けていく予定である。能登市民の想いを反映した復興計画を実現するために、今後とも随時情報連携をさせていただきたい。

## 1 復興ビジョンの収集・発信

- 能登に住む市民の復興ビジョンの収集・発信を継続するが、現時点ではまだ未来を語れる市民の絶対数が少ないため、足の長い活動をする必要を感じている

「石川県創造的復興プラン」の能登市民向け説明キャラバンを私たちと共にして頂けないか？

## 2 復興イニシアチブの育成

- 「能登乃國百年塾」は被災した高校生から大学生を対象に月に1回開催しており、これを徐々に大きな取り組みにしていきたい

「能登乃國百年塾」の講師を石川県庁から派遣して頂けないか？

## 3 能登乃國ポータル運営

- 現時点で復興団体・支援団体・自治体の連携が点と点になっており、これを面のコミュニケーションに変えたい
- 5月末に、上記3団体を繋ぐコミュニケーションポータル「能登乃國ポータル」のサービスを開始する予定

「能登乃國ポータル」に石川県として団体登録をして頂けないか？



能登を、能登らしい能登にするために。

